

「いろいろな工夫が盛りだくさん！」ぬまづのエコを大公開！

第10回
ぬまづ
エコ活動コンテスト
2019

10th NUMAZU ECO ACTIVITIES CONTEST 2019

★応募総数は74活動！
みどりのかーテンフォトは31活動！

★気軽に挑戦できる
「エコ活動」がいっぱい！

投票受付中！

あなたはどの活動を選ぶ？



★審査員は
そこのあなた！



(投票先QRコード)

◀スマホから
お気に入りの
活動に
投票しよう。



沼津市生活環境部環境政策課

協力：省エネ推進ネットワークぬまづ

沼津市の取り組み①

みんなで考えよう!
「沼津のこと」「日本のこと」「世界のこと」

かけがえのない自然とそこに暮らすのちを守り未来につなぐため、沼津市が進める取り組みを紹介します。

ぬまづエコ活動コンテストとは？

各部門から選ばれたお気に入りの活動に投票しよう！

市民一人ひとりが身の丈にあった身近なエコ活動に取り組む「エコのまち沼津」を推進するためのイベントとして、「ぬまづエコ活動コンテスト」を平成22年度より開催しています。

応募があった6部門合計74活動のうち、内部審査を経て決まった上位18活動を対象に投票を行い、各部門のNo.1を決めます。

「地区環境学習会」、「地域での清掃活動」、「グリーンカーテン活動」など、様々な活動が集まりました。一つひとつが「エコのまち沼津」につながる貴重な活動です。

応募総数は74活動！（みどりのカーテンフォトは31活動）
**部門ごとに選出された上位活動に投票して、
No.1を決定しよう！**

目次

- 2 ▶ ぬまづエコ活動コンテストとは？
- 4 ▶ みどりのカーテンフォト（おうちの写真部門＆みんなの写真部門）
- 6 ▶ みんなのエコ（高校以上・職場・団体部門）
- 8 ▶ 子どものエコ（幼・保・小中学校部門）
- 10 ▶ おうちのエコ（個人・家庭部門）
- 12 ▶ まちのエコ（地域部門）
- 15 ▶ 投票方法

市民エコプロジェクト支援制度

平成27年度から始まった制度で、市民の方々が推進する環境保全活動を支援しています。本制度には「登録部門」と「補助金交付部門」の2部門があり、内容は以下のとおりです。

登録部門

沼津市環境基本計画の推進に寄与する活動として「登録」し、市ホームページ等での活動紹介や活動に係る助言などの支援を行います。

補助金交付部門

上記「登録」に加え、10万円を上限（※）として活動費の全部又は一部を補助します。

※令和元年度現在の上限枠であり、今後変更となる場合があります。

出前講座

市民の方や市内の企業等からの依頼に応じ、地球環境や環境保全、ごみ問題など様々なテーマについて、市職員の派遣等による出前講座を行っています。また、地域における環境学習会等での講座の企画・運営補助等の支援も行っています。

講 座

地球環境～今私たちができること～

地球温暖化など環境問題の解決に向けて私たち一人ひとりができることを学びます。

身近な環境について（環境政策課）

大気・水質・騒音・ダイオキシン類など身近な環境問題について学びます。

沼津市の環境への取り組みについて（環境政策課）

沼津市環境基本計画を中心に、市の環境保全に関する取り組みについて学びます。

みんなで考える“ごみと私たち”（クリーンセンター管理課）

「ごみの現状」と発生量・処理方法について、また分別ゲームを通して3R「ごみの発生抑制、再使用、リサイクル」について学びます。

「プラスチック製容器包装」について（クリーンセンター管理課）

「プラスチック製容器包装」のリサイクルの仕組み、リサイクルの方法、分別時のポイントについて学びます。

作ってみよう ダンボールコンポスト（クリーンセンター管理課）

生ごみの減量に効果的なダンボール製の生ごみ処理容器の作成方法・仕組みを説明します。

アース・キッズ事業

アース・キッズ事業は、小学校高学年を対象に子どもたちがリーダーとなり、家庭で地球温暖化防止に取り組むプログラムです。地球温暖化防止のため自分たちでできることがたくさんあることに気づき、地球上にやさしい生活の知恵を身に付けてもらうことを目的としています。本事業は、小学校、静岡県地球温暖化防止活動推進センター（特定非営利活動法人アースライフネットワーク）、静岡県及び市が連携・協力し、総合的な学習の時間などをを利用して実施しています。令和元年度は10校の小学校が参加しています。



みどりのカーテンフォト

おうちの写真部門
&
みんなの写真部門

「目にも、お財布にも体にも、良いこといっぱい！」
夏の日差しをさえぎる自然のカーテン！



夏場に省エネ効果を発揮！
「みどりのカーテン」の写真が31点集まりました！
選ばれた上位活動から、お気に入りを1つずつ選んで投票しよう！



昨年自宅に植えたゴーヤのこぼれ種がこんなに成長しました。家の涼しさはもとより、実は天ぷら・ジュース・サラダと毎日楽しんでいます。ゴーヤの生命力に感心します。



ブルースイトピー。色々なツル性植物でグリーンカーテンを作っていましたが、ブルースイトピーが一番強く、花が可愛く、色も上品で気に入っています。自己流で冬越しを試した結果、植えっ放しで半ば木のようになってしまった物からまた芽が生え、2年目、3年目の株2本で今年もカーテンが出来ました！肥料要らずもGoodです^_^

ブルースイトピーは花アップの写真をみるとわかりますが、上の方がくるんとしてカタツムリみたいで“エスカルゴフラー”や“スネイルフラワー”的名もあるようです。



植えたのは白いゴーヤで、形・色・つやともによい、大きな実がたくさんなっています。今年は6～7月の日照が少なく、なかなか実がつきませんでした。8月になるとようやく実がつきだし、苦くないので、サラダなどにして食べました。幅5.5m、高さ4.5mの広いカーテンで、結構効果がありました。今年の猛暑ではエアコンも（室内が30℃を超えると）使いました。高さが高いので、高い脚立に登っての収穫など作業は大変です。庭が大変ないので、写真はうまく撮れません。白いゴーヤは大きくて格好がよいので、4歳と9歳の孫娘も大変に興味を持っていて、いつも取り合いでいます。



ゴーヤの苗を植えてグリーンカーテンが2階まで育ちました。毎日、園庭で遊び廻る子ども達にとって木陰で涼しく一休みできる場所です。園児達が毎日、小さなじょうろにお水を入れて水やりをしました。



ホップ、琉球朝顔のグリーンカーテン。ホップにチャレンジ。植え付け面積が広いため、水やりには、自動散水器を利用しました。また、つるを網に這わせる作業や草取りの実施により、カーテンとして育てる事ができました。



同じゴーヤでも品種が違うのか今年は細長いのが特徴です。撮り方としては店から自宅の玄関までと長いです。



こちらでは、そのすべてを紹介します（投票は行うことはできませんのでご注意ください）。



みんなのエコ

「多くの仲間と楽しみながら」「みんなで取り組むエコ活動！」

高校以上・職場・団体部門

エントリー
3

放課後児童クラブ 環境学習会



放課後児童クラブ内

今年は「水をたいせつにしよう」をテーマに、小学校の11の放課後児童クラブで300人以上の児童と環境学習会を開催しました。『水とはなんじや』の絵本や「水をたいせつにしよう」の紙芝居で水について考えるきっかけを作り、水の濾過実験も行いました。また、沼津の水はどうしておいしいかを伝え、水道のない外国に住む子ども達の話を伝え、児童は自分の生活を振り返り、どうしたら水を大切にできるかを考えました。これからも小学生と一緒に環境について考える機会を設けたいです。

エントリー
2

快適に遊べる公園環境



放課後児童クラブ内

今年は「水をたいせつにしよう」をテーマに、小学校の11の放課後児童クラブで300人以上の児童と環境学習会を開催しました。『水とはなんじや』の絵本や「水をたいせつにしよう」の紙芝居で水について考えるきっかけを作り、水の濾過実験も行いました。また、沼津の水はどうしておいしいかを伝え、水道のない外国に住む子ども達の話を伝え、児童は自分の生活を振り返り、どうしたら水を大切にできるかを考えました。これからも小学生と一緒に環境について考える機会を設けたいです。

エントリー
1

懐かしの新聞紙でエコ



店舗

駄菓子屋さんをやっていて、たくさんの子供たちが買いに来てくれるのですが、悩ましいのが商品を入れる袋。以前はレジ袋を使っていましたが、ビニールやプラスチックが世界的に問題になっている昨今、ふと目についたのが新聞紙。昔、八百屋さんや魚屋さんでは、普通に包装紙として使われていたと思います。

そこでネットで見た“新聞紙で作る袋”を、ビニール袋の代わりに使うことにしました。今では、ご近所の方も協力して作ってくださっています。

高校生以上、職場やNPOなどの団体による取り組みを紹介します。
応募総数6活動から選ばれた3活動のうち、好きな活動に投票しよう！

残念ながら投票対象とはなりませんでしたが、その他の応募活動も力のこもった活動ばかりです。
こちらのページでは、そのすべてを紹介します（投票は行うことはできませんのでご注意ください）。

御浜岬公園の環境整備



戸田御浜岬公園

戸田地区の景勝地である御浜岬を美しい浜「みはま」にしたいという会長の願いから始め、今年で12年目になる。戸田中学校や法人会が主催で行う清掃活動にも参加している。愛護団体として「市の花：ハマユウ」の消毒を行っている。「市の木：松」については、小学生の卒業記念として植樹の準備の手伝いをしている。今年は連合自治会の「人と応援と差し入れ」もあった。毎年50本ずつ植えても、場所によっては上手に育たないで、枯れるものが多くある。

ビーチクリーンボランティア活動



片浜海岸

7月7日に片浜海岸でビーチクリーンボランティア活動がありました。活動は海岸清掃です。朝8時から8時45分までの短い活動時間になりますが、とてもたくさんの人達が集まり、ビーチクリーンのボランティア活動を終えると海に向ってお祈りを皆でします。海岸清掃を終えてお祈りをすると、心だけではなく気持ちもキレイになります。

「地球気候の変化と防災」
沼津の地形・ジオサイトを知って、豪雨などの災害被災の実態や、地球温暖化や気候変動について学び、狩野川放水路やジオサイトを見学しました。



「資源循環」
プラスチック汚染問題を学び、食品トレーのリサイクル工場見学と再生ガラスを使ったものづくり体験を行い、資源循環を学びました。



沼津市の取り組み②

ぬまづ環境市民大学

市では、身近な環境問題について考え、自分でできるエコ活動に取り組み、地域の環境保全につながる、「ぬまづ環境市民大学」を開催しています。

令和元年度は、「地球を守る・命を守る」と題して、前期は6月から7月にかけて、「地球気候の変化と防災」をテーマに全3回、後期は8月に「資源循環」をテーマに全2回、講座やフィールドワークを開催しました。

毎年度、様々なテーマで講座を開催しています。
詳細は市ホームページをご覧ください。

こどものエコ

ぼくにもわたしにもできることがある
地球のために頑張っています!

幼・保・
小中学校
部門

市内小中学校、幼稚園、保育園の子ども達の取り組みを紹介します。
応募総数5活動から選ばれた3活動のうち、好きな活動に投票しよう！

江原町歩道橋クリーン作戦

エントリー1



町内にある学校前及び国道一号線近くの歩道橋とその周辺

子供会に引き継がれてきた清掃活動で、月に一度、みんなで歩道橋とその周辺のゴミ拾いをしています。小学校の目の前にある歩道橋ですが、驚くほどたくさんのごみ、たばこの吸い殻が捨てられています。子供たちの通学路なのに、これは大変悲しいことです。

清掃がすすむにつれ、子供たちもどんどん真剣になっていきます。「ここにもたばこがある！」「こんなところに空き缶！」自分たちの通学路を自分たちできれいにして、気分すっきり。この時は、学校の桜がきれいに咲いていました。

グリーンカーテンでテラスを日陰にする

エントリー2



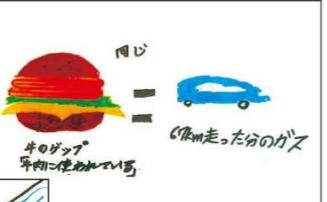
愛鷹小学校学童保育タンポポクラブ教室前

タンポポクラブ教室前のテラスの照り返しを弱める目的で、昨年年に続きグリーンカーテンに挑戦しました。

スイカ・まくわウリを4月末に、地域配布のゴーヤを5月中旬に植え付けました。ゴーヤは生育が遅く心配でしたが、8月中旬に入りたくさんのがんばり始め、子供達に収穫体験をさせてあげることが出来ました。高枝バサミの下につけた袋にゴーヤを入れツルクビを切るの大変でした。スイカを落とさないよう大事に持つ子供のうれしそうな顔が印象的でした。

地球・エコについて知ろう！！

エントリー3




長塚町内（東沢田）

子供達に、環境破壊について、一例を用いて説明をし、生活中で何が出来るかを話し合い、エコ活動の大切さを学んでもらいました。そして、子供達の目線で感じたものを絵と言葉で表現してもらいました。その様子や、実際に書いたものを写真に収め、大人世代にも知ってもらうため、自治会長さんへ回覧をお願いしました。

また、ペットボトルはしっかりと洗ってから分別して捨てる事、キャップは寄付するとワクチンになる事を教えてました。実際に皆で洗い、分別している時、子供達が楽しそうにやっていた事が印象的でした。

残念ながら投票対象とはなりませんでしたが、その他の応募活動も力のこもった活動ばかりです。こちらのページでは、そのすべてを紹介します（投票は行うことはできませんのでご注意ください）。

ぬり絵でエコを感じよう！そして実行してみよう!!



各家庭

前年から続けているエコのぬり絵を新しいものにして、各自が出来そうなエコ活動を考えもらいました。簡単な家の前で打ち水をしたり、グリーンカーテンを育てて日陰を作成したり、使わないコンセントは抜いたりするなど報告を受けました。上手にぬってもらったぬり絵は町内の掲示板やマンション、コンビニなどに1ヶ月程貼ってもらいました。

ペットボトルキャップ回収

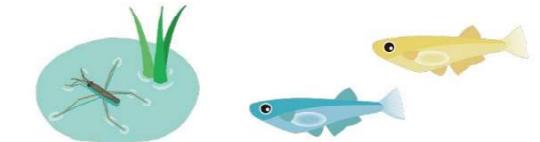


各家庭 回収は地域の夏祭り会場

ペットボトルキャップをただゴミとして捨てるのではなく、それを集めて替える事によって、誰かの役に立つという事がわかり、そのような嬉しい事から、エコに対しての認識を変えていく事を行っています。6月から各家庭でペットボトルキャップの回収をしてもらいました、8月14日の中田盆踊り大会の時に、回収箱を用意して回収しました。2kg、約860個、ワクチン0.54人分となりました。今年は雨の中での回収となりましたが、たくさんの子供たちがペットボトルキャップを持ってきてくださいました。

沼津市の取り組み③

夏休み親子水生生物観察会



川にすむ生き物を簡単な道具を使って採集し、その種類を調べることで、水質（水のよごれの程度）を判定する調査をします。水生生物調査は、29種の生き物が指標生物として選ばれており、それらの生き物の種類と数から、川の水のよごれの程度が4つのレベルのどの段階なのかが分かります。毎年各地で開催されています。

今年度は7月26日（金）に清水町と合同で開催し、53名の参加がありました。黄瀬川橋付近では水質階級1から4までの指標生物が幅広く採取され、結果として水質階級1「きれいな水」と判定されました。



夏休み親子エコ教室

市では小中学生とその保護者を対象とした「夏休み親子エコ教室」を開催しています。環境に配慮した活動をしている企業を見学し、リサイクルや省エネ・省資源の工夫など環境への取り組みについて学びます。

本年度は、8月8日（木）、市内の小中学生27人と保護者16人の計43人が参加し、アサヒ飲料株式会社富士山工場と株式会社明電舎沼津事業所を見学しました。工場から排出される廃棄物が100%リサイクルされていることや、敷地内の緑化保全による自然保護など、企業の環境保全活動について学びました。



おうちのエコ

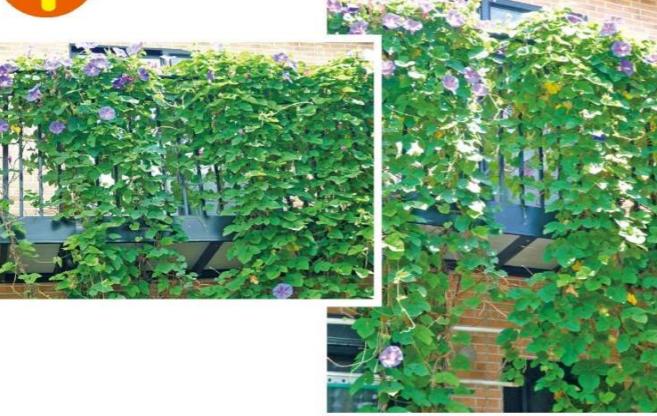
「明日からやつてみよう!」「ひとりから始めるエコ活動!

個人・家庭
部門

個人や家族で取り組む、環境にもおサイフにもやさしい取り組みを紹介します。
応募総数9活動から選ばれた3活動のうち、好きな活動に投票しよう!

琉球アサガオの緑のカーテン

エントリー1



自宅

自宅の1階部分の南東側と南西側は、琉球アサガオの緑のカーテンによって日差しが遮られるので、カーテンがないと考えた場合に比べて少しは室温が低いのではないかと思います。夏の暑さが年々厳しくなる要因には先ず地球温暖化があると思います。我が家には窓用エアコンが2基だけあります。費用を抑えたいとの理由もありますが、エアコンは必要最小限と決めてあります。緑のカーテンのお陰かもしません。

**遊びながら楽しく環境を
良くしよう!**

エントリー2



自宅、市内の海岸など

虫とりをしたり、海岸の石を拾ったりと自然の中で遊ぶのが好きな子供たちです。母の仕事の関係で、海のフラごみ拾いに参加したことがきっかけで、小5の娘が温暖化や海のフラごみ問題に関心を持ちました。海に遊びに行くときは自らごみ袋を用意し、「ママ、拾うよ!」と張り切っています。小2と2歳の弟も姉の行動を見て、遊びながらごみを拾い集めてくれています。これからも定期的に活動していきたいと思います。

**ダンボールコンポストを
実施して5年目**

エントリー3



自宅

市のダンボール講座の講習を役所で受けてから5年目で、出すゴミの量や種類、温度などをずっと記録してきました。
①ダンボールを二重にした。半年のものが2~3年もつようになった。②温度が低い時は、天ぷらの廃油を混ぜると上がる(室温より5~6度高いが、それ以上上がる)。③万遍なく隅々までかき回せるように、スコップの他に小さくわのようなものを用了。1回で800グラム(3~4日程)位出している。
「燃やすごみ」の量が減って、ゴミステーションに出す日が少なくなり、楽になりました。

残念ながら投票対象とはなりませんでしたが、その他の応募活動も力のこもった活動ばかりです。こちらのページでは、そのすべてを紹介します(投票は行うことはできませんのでご注意ください)。

個人・家庭で取り組むエコ活動

各家庭

第五西地区連合自治会からエコ活動推進の推奨があった。五月町自治会役員会では、「エココツアクションシート」などの取り組みに賛同し、コンテストに応募した。

ダンボールコンポストでたい肥化(2)



畠小屋(兼車庫)

従来、家庭から出る生ごみのうち、大量にてる家庭菜園の野菜や魚の骨などは、家庭処理とは別に畠へ捨てていた。しかし、深い穴を掘つたり、動物に掘り起こされないよう囲いをしたり、意外と面倒。そこで、家庭でも実施しているダンボールコンポストを試してみた。1度にごみを10Lパケツ一杯分位入れてかき回す。内部の温度の変化としては、ときに40~50°Cのときもあった。一般には普通の温度でショウジョウバエがたくさん出るが、車庫兼小屋なので逃がしたりしている。便利で今も続いている。たい肥としては良いもので、穴を掘らずにそのまま畠に撒ける。

わが家のエコ(小さなことです)

家族3人、一人一人が何時も頭の片すみに、電気、ガス、水他もったいない過ぎないことを気にかけて日々エコしています。古くなったタオルは雑巾に縫つておく。使用した歯ブラシはきれいにしておき、窓の拭き、細かい所の掃除に使う。フローリングシートを使った後玄関をふくときれいになります。買いたい物に連れて行くのはエコバッグ、今は体の一部です。昭和前半期に育った私、亡き父母にはもったいないと厳しくされ、その時代には想像もつかなかつた恵まれた時代になり、かえってエコするのが大変だと思います。亡き父母の教えにこれからもコツコツエコします。

生ごみの堆肥化



自宅台所の近所

平成元年に講演会で知り、はじめはあがくすやぬかに生ごみを混ぜて、堆肥を作っていました。しかし虫が出たり、臭いがきつくなったり等で失敗でした。戸田村時代に行政から補助金付きの電気式の器具を申請購入し、今もその2台目を使用しています。出来た堆肥は香ばしい臭いで違和感はありません。冬の家庭菜園には深く耕して入れます。根菜類は特に甘さを感じる作物が出来、化学肥料の減少にも役立ちます。プランターで育てる花栽培は、色も株も良く育ちます。本年度は、花の会の菊鉢にも入れてみましたので、秋の開花を楽しみにしてあります。

牛乳パックを簡単に分解するカッターの作成



自宅

リサイクルのために牛乳パックを分解するには、パックの素材の良さもあり大変である一方、廃棄するのにもかさばって、ごみ箱がいっぱいになってしまふ。そこで、もっと簡単に分解できる道具はないかと考えて道具を作成した。

グリーンカーテン(失敗の巻)



自宅西側(井田)

和室に西日が入り暑いため、グリーンカーテンをやってみました。ブドウ、冬瓜、朝顔、梅の木で写真のように考えて配置しましたが、猪が根を掘り、枯れてしまい、梅の木だけが残っています。来シーズンは梅の木の剪定を考えて実施し、カーテンを作つてみたいと思います。失敗記ですが再チャレンジです。

まちのエコ

地域で広がるエコ活動の輪

あなたも参加して取り組みを広げよう！

地域部門

エントリー
3

金岡地区エコ活動



金岡中学校区

代表の地域エコリーダー2名と、各自治会選出エコリーダーで活動をしています。当エコ推進部は市・県の環境関連の活動・講演等の情報を回覧等で広報し、地域での環境意識向上を目指しています。今年度も参加自由な環境塾、子供向け環境塾「水生生物観察会」を開催しました。自治会エコリーダーの大半は毎年交代する為に、年度開始前に新年度役員予定者を招集し活動の指標となる様に他所の活動内容を紹介したり、活動計画が出来る様に情報提供を行っています。

エントリー
2

門池の環境と水を考える会 (門池の自然に想いを託して)



門池公園及び周辺

門池の自然環境について学習・研究及び池の調査等を実施し、毎年コミュニティで報告し、地域で活動等を共有しています。門池中学校2年生が取組んだ、門池の水をきれいに浄化する植物に着目した研究の発表を行いました。沼津高専・門池中・門池小・地域で調査隊が身近な水辺環境を調べようと、年2回水質調査を実施しています。池の水は12年間水質はほとんど変わっていませんが、汚くなったら気付くよう水質調査を継続し、これからも私たちに出来ることを考え、行動し、この活動をより地域の課題として推進させたいと思います。

エントリー
1

途上国へ靴の寄付(靴のリユース) 埋め立てゴミの再利用



各自治会の埋め立てゴミ回収場所 (主に公園や自治会館等)

住宅地である第五西地区で、多くの住民にエコ活動を意識していただくことを目的に活動を行いました。想像を超える数の靴の寄付をいたくことができましたが、全ての靴を寄付するには多すぎたため、選別を行い70足の靴を途上国支援団体に寄付しました。リユース(再利用)を呼び掛けたことで、「また履くかも」「もったいない」と処分に悩んでいた方にもご協力をいたくことができたと思います。この結果を各自治会に報告することで、少しでも地域の方々にエコ活動を意識していただければと思います。

自治会や地域のコミュニティによる活動を紹介します。
応募総数23活動から選ばれた3活動のうち、好きな活動に投票しよう！

残念ながら投票対象とはなりませんでしたが、その他の応募活動も力のこもった活動ばかりです。
こちらのページでは、そのすべてを紹介します（投票は行うことはできませんのでご注意ください）。

新田区内の美化活動



新田区内(戸田)

新田区の中に入った道路の缶拾い、新田区バス停のゴミ拾い。側溝のゴミ拾い、新田区の道路の落葉と小枝の片付けをした。気が付いたゴミはなるべく拾うように心がけている。

丸子町公園草刈り



丸子町公園

町内の祭りに向けて、気持ちよく祭典を行うため公園内をきれいにし、丸子浅間神社の関係者等を迎えるため、町内の関係者が集まり茫茫々と伸びている雑草や周囲の側溝の清掃活動をしました。

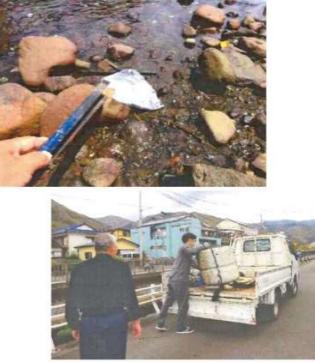
ウォーキング中に自発的に気付いたゴミを拾わないと気がとがめる。



大中島区内(戸田)

大川堤防沿いをウォーキングしながらゴミ拾いをしている。早朝のウォーキングでは堤防以外も気になった所はゴミを拾っている。タバコのすいがらはどこでも目立つ。草むらなど風でたまたま所に吹きだまりのゴミがある。

時に道龍川のゴミを拾った



入浜区内道龍川(戸田)

道龍川沿いに家があるので、上流から流れてくるごみに気が付く。時に写真に撮って保存している。又、拾って処理もしている。オムツ、ナイロン袋に入ったゴミ、発泡スチロール、ペットボトル、トレイ等。缶などは川底に沈んでいる。環境美化指導員として回覧板等で注意を促していく、最近は少し良くなったが、今もごみが流れてくる。

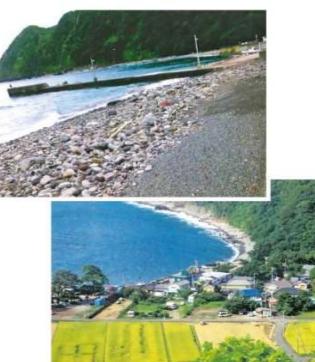
浮島地区にエコの花を咲かせよう。



浮島地区センター

浮島地区センター(事務室・図書室・市民窓口事務所)にみどりのカーテンを育て、冷房電気代の節減につとめる。5月12日にパッションフルーツを植え付けました。成長を楽しみにしていたが、水やりと追肥がかみあわず成長が例年の半分となってしまった。来年度に向け問題の解決を図りたい。

井田地区内の清掃活動と植栽



井田地区(戸田)

井田地区は、そばだった崖ごしに富士山を眺望する名勝地である。大事にしたい。井田区内を全員で清掃し、花を愛でることを大切に思い、年数回実施し、きれいにしている。男性は井田崎(山崎)の下草刈りをし、女性は市から提供された花苗を大型ポット及び空き地(井田区内)に植えた。

ゴーヤが穫れました



第一地区センター

今回は、あまり苦くないゴーヤを植えてみました。5月頃、苗を購入し、地区センター事務所前の花壇に植えました。事務所の方に水まきや枯れ葉の処分等手入れしてもらい、苗は順調に生育し、実も結構なり、ゴーヤの好きな人に持って貰いました。苦労としては、あっちこっちにつるが伸び、その手入がたいへんでした。

舟山地区内の美化運動



舟山地区(戸田)

舟山集会場の前の広場の清掃をS.Iさんがよくやってくれる。感謝。バス停のたばこのすいがらを自ら拾った。舟山地区はシルバーさんが辞めたため、地区内の道路は以前より雑草や落ち葉の多い積している所が多く、6月の美化運動だけでは間に合わない。

次ページにも応募活動が掲載されています。

丸子町公園花壇に花植えて

丸子町公園

公園内の花が枯れてしまい、錦丸子町愛護会の手によって、市から譲り受けた花を花壇に植えました。またそれと並行して、公園内の清掃をしました。



戸田港まつりでの美化活動

戸田中央桟橋

戸田港まつりでは1,000~1,500人の参加者がある。環境美化指導員は12、13年前前から「ポイ捨て禁止」の啓発活動をしてきた。今年も啓発ティッシュを900個配って、のぼり旗、看板を掲出した。その後夜に、海岸沿いの中央桟橋会場のゴミを拾った。今年はごみが少なく、45Lごみ袋で約1/3袋分。翌日に会場を見回ったが、ごみは例年より少ない。海岸を漂流しているゴミは殆どなかった。



小山田区内の美化活動

小山田区内（戸田）

ゴミステーション赤紙袋の分別をした。“くるら戸田”的周辺、小山田区川沿いの歩道の目についたゴミを拾った。タバコのすいがら、発泡スチロールのかけら、缶、ペットボトルが多くある。“くるら戸田”にはゴミ箱があつても周辺に捨てる人がある。小山田橋～入浜の橋の歩道の排水が土と草でふさがっていて、大きな水たまりになっていたので排水できるようにきれいにした。



自然とふれ合いパワーをもらおう!!

大平地域内 各所

大平地区には休耕田畠がたくさんあります。「コミねっと大平」のメンバーは、活動の一つに地域内を流れる水路の水質検査を継続して行っています。また、沼津アルプス登山道の整備等も定期的に実施するなど、地域環境の保全・保護・整備等、年間を通して活動が定着、令和の幕開けを機に更に活動の輪をバージョンアップさせ、自然環境の保持・保全に取り組みます。



指導員の活動中にゴミを拾った、又、日常に。

中上地区（戸田）

年間を通して地区内（桜並木通り、家の周辺）のゴミを月1回程度拾っている。他に草取りや枯れ木拾いをして環境美化、環境整備に努めている。



プラスチックごみの問題提起と海岸清掃

御浜岬（外海）

以前、沼津市で6月に開催していた「フェスタ・コスタ・デル・ゴミ IN 千本浜」に、戸田からも3、4人参加していた。ある親が子に「こういうプラスチックごみが自然に還らない悪質なゴミだからこういうのを拾え」と言うのが聞こえた。そこから私は「プラスチックごみ」をテーマにエコ活動コンテストに応募してきた。我々は、御浜岬を主に外海の海岸清掃を始めて、すでに10年になる。



御浜岬清掃活動への参加

御浜岬公園

戸田中学校の御浜岬清掃は、始めてから25~26年目になる。環境美化指導員は参加してから12、13年になる。環境美化指導員の呼びかけで、自治会も参加するようになって5年位になる。戸田地区でも児童、生徒数が減って保、幼、小、中生合計で100~120人程度。地域住民との協力が不可欠と考えられる。元々は「地元のゴミは地元が拾え」で戸田中学校の主催で始めたことである。



緑と景観の保全を・・・

大平小学校・大平地区センター周辺

大平地区センター周辺には長年の間に大きく成長した樹木が、花や実を付け四季折々の変化を体感することができますが・・・。大木になった樹木の成長は一段と速く、明るさや、周辺の見通し・景観を損ねる事も多々あります。そのため自治会の皆さんで年々、樹木の剪定作業や毎月の清掃活動を実施しています。季節にかかわらず、大変な作業となりますが、地域環境の保全・保護・整備のためこれから多くの協力を得て、大平地区センター周辺の清掃活動が続けます。



“千本松原をいつもきれいに” 環境美化・エコ（清掃）

千本松原、海岸

富士山の世界文化遺産登録もあり、各自治会で継続的に行っている、千本松原、海岸の清掃を、エコ活動として千本松原地区全体で毎年取組んでいます。

さらに町内の河川、緑道などの清掃も有志で行っており、松林の清掃は各自治会毎に年数回個々に行っております。連合自治会全体で合同にて松林内の清掃は11月に予定し、海岸の一斉清掃は7月に実施しています。子供を含めた家族ぐるみの参加を呼びかけています。

（写真：千本松原地区）

グリーン×クリーン

松沢川雨水貯留池周辺

2011年にスタートしたエコ活動は9年目となりました。食育も兼ねた花壇一角の食べられる植物の育成は、自治会福祉部とも連携して高齢の方々との交流につながっています。松沢川雨水貯留池での清掃を兼ねた観察バトーローも継続しています。習い事やクラブチームへの参加などで参加人数はなかなか増えない中、自然や環境にも強い興味を持つ新入生も出てきました。今年は、私達の活動がSDGsの17目標のどれに当たるのか、達成に向けた問題を考える場ともなってきました。サポートする大人が、子ども達の成長に目を見張り発破を掛けられている思いです。



地産地消の継続と里山整備による環境保全

しおみちエコ運動推進会は地産地消家庭の省エネ活動などの5本柱を中心に行っています。

地産地消は、農家から畠を貸して頂き、町内の農家と競合しない作物を育て、町民の皆様に少しでも新鮮野菜や果物が提供できる環境づくりを行っています。

竹林山は山の整備と肥料や整地を行い、筍を収穫し茹でて町民の皆様に提供するなど地産地消が継続できると同時に農家の苦労も知ることができます、食べ物を粗末にしてはいけない瞬間もあります。

ゴミ籠を置いて調査④

御浜岬南駐車場

戸田の御浜岬外海の南側にある駐車場付近のフェンス下は岩場である。「パトロールしています」の看板は前からあったが、過去は岩場にたくさんのごみが捨ててあった。海越しに遙か望むは世界遺産の富士のお山。足元を見ればゴミの山。岩場を渡り歩いてごみを拾っていたが危険でもある。今はフェンスの所へごみ籠を自分で置いてみた。弁当箱等の燃やすごみ、缶、ペットボトル、ビンが多く、他に釣り具、ライター、ハンガー、化学肥料。地元の家庭ごみの持ち込みまである。毎日回収することも出来ないので、年に2、3回岩場で拾うと、1回に45Lごみ袋7、8袋分はある。



投票方法

① 冊子を読んで、部門ごとの投票対象からお気に入りを1つずつ選ぼう！（全6部門）
(※投票対象は、応募された全活動の中から内部審査により選出された活動です。)

② 好きな方法で投票しよう！

A 投票箱へ投票する



沼津市役所 7F 環境政策課
と、各地区センター窓口等に設置される投票用紙に記入して、投票箱へ投票してください。

B はがきで投票する



裏表紙の投票用紙（コピー可）を貼り付けて、沼津市役所環境政策課まで郵送してください。

C インターネットで投票（投票システム）



<https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/form.do?id=1571807698455>
上記URL、QRコードにアクセスして投票してください。

D facebook で投票



<https://www.facebook.com/economazu>
Facebookアカウントをお持ちの方は、上記アドレスからも投票できます。

投票〆切 ▶ 令和元年12月20日（金）まで！

●沼津市の環境施策を配信中!

沼津市ホームページ

「環境～エコのまち沼津を目指して～」

URL

<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/sumai/kankyo/index.htm>



●「いいね!」からはじまるエコ活動

facebook「エコのまちぬまづ」

URL

<https://www.facebook.com/economazu>



【沼津市トップページ】▶【市民のみなさんへ】▶【住まい・環境・ペット】▶【環境】とお進みください。

第10回 ぬまづ エコ活動コンテスト 2019

10th NUMAZU ECO ACTIVITIES CONTEST 2019

第10回 ぬまづ エコ活動コンテスト

部門ごとの投票対象からお気に入りを
1つずつ選んで、投票してください！

投票用紙

※コピーして使用しても結構です。

はがきに
貼り付けて
投票しよう！

※コピーして使用しても結構です。
インターネットや投票箱へも投票できます。
詳しくは15ページをご覧ください。

| | |
|-------------------------|---|
| ●みどりのかーテンフォト (おうちの写真部門) | 番 |
| ●みどりのかーテンフォト (みんなの写真部門) | 番 |
| ●みんなのエコ (高校以上・職場・団体部門) | 番 |
| ●こどものエコ (幼・保・小中学校部門) | 番 |
| ●おうちのエコ (個人・家庭部門) | 番 |
| ●まちのエコ (地域部門) | 番 |

キリトリ
キリトリ

協賛

FUJITSU

くらしを考え、明日をつくる。
SHIZGAS
静岡ガス

MEIDEN
Quality connecting the next

JAなんすん

くらら戸田
くらら戸田

東芝機械株式会社

沼津市商店街連盟

沼津大手町商店街振興組合

沼津市生活環境部環境政策課

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号 TEL : 055-934-4741

沼津市環境政策課